那覇市制施行
97周年記念式典

式　次　第

第１部　記念講演　〈午後３時～〉

1．琉　球　舞　踊　　かじゃでぃ風　　玉城流玉扇会
　　大浜多津江 様　金城順子 様　仲村加代子 様

2．記　念　講　演　　那覇市長　城間　幹子

第２部　市政功労者表彰　〈午後４時 10 分～〉

1．市　歌　斉　唱　　那覇市立石嶺小学校
2．式　　辞　　那覇市長　城間　幹子
3．表　　彰　　市政功労者
4．祝　　辞　　那覇市議会議長　翁長　俊英
5．代　表　挨　拶　　市政功労者代表　中村　哲雄 様

日　時：平成 30 年 5 月 20 日（日）
会　場：パレット市民劇場

那　覇　市

ひと つなぐ まち

COOL CHOICE
未来のために、いま選ぼう。

式　　辞

はいたい、ぐすーよー　ちゅーうがなびら

那覇市制施行97周年を市民の皆様とともにお祝いし、あわせて今日の県都・那覇市の発展に尽くされた多くの皆様に心から感謝を申し上げます。

３年後には、市制施行100周年の大きな節目を迎えます。それに先立ち、これからの10年間の市政運営の羅針盤となる第５次那覇市総合計画が、今年４月よりスタートいたしました。本計画の策定にあたりましては幅広い市民の声を紡ぎ、それぞれの熱き想いにあふれた、まさに那覇市の誇りとなる総合計画となりました。

皆様から託された思いを確実に実現するため、計画を着実に推進していく所存です。

また、この総合計画の「まちづくりの基本姿勢」には、「協働の絆・平和の絆・共生の絆・活力の絆・共鳴の絆」という５つの絆を築くことを掲げております。

私はこれまでにも、今日の那覇市の発展は、命を尊び平和を愛する「命どぅ宝」の心、世界の懸け橋となる「万国津梁」の心、助け合い支え合う「ゆいまーる」の心、人との出会いを大切にする「いちゃりば　ちょーでー」の心という「四つの心」が結び付き、「なーふぁを想う心」に紡がれてきた証だと申し上げてまいりました。

市制施行100周年、そして次の100年へ、たゆまぬ那覇市の歩みと揺るぎない風格を纏（まと）う県都として、さらなる高みを目指すためにも、「四つの心」を礎に、「五つの絆」を深めていくことが、より一層、大切になってくるものと強く感じております。

さらに、那覇には沖縄の経済と文化の中心地として、また、東アジアや日本との交流軸の結節点として人々が集い、交差することで、文化や伝統を育み、産業を生みだしてきた歴史があります。

うちなーぐちで交差点のことを「あじまぁ」と申しますが、まさにヒトとヒトが出会い、ヒトとモノが集まり、そして、新しいコトが生み出されてきた那覇の歴史そのものが「あじまぁ」という場所ではないかと感じています。

市民の皆様。私たち一人一人の力をつないで、まちづくりのプロセスのひとつひとつに「あじまぁ」を創り出してまいりましょう。そして、人々が心を通わせ、支え合う中で、愛着と誇りを持って暮らし、働き、子どもの成長を楽しむ、そのような、市民の笑顔が広がる「わった一自慢」の那覇をご一緒に築いてまいりましょう。

結びに、本市のさらなる発展と市民の皆様のご繁栄を祈念し、式辞といたします。

いっぺー　にふぇーでーびる。

平成30年５月20日　　那覇市長　城間幹子

四

御万人（うまんちゅ）にぎわう　一マイル
誇れる郷（しま）土に　笑顔咲く
結（ゆい）の心で　ともに生き
平和はぐくむ　わが那覇市

五

守礼（しゅれい）の邦の　城下町（じょうかまち）
歴史の息吹（いぶき）　受け継がん
万国津梁（ばんこくしんりょう）　ここにあり
あしたをひらく　わが那覇市

六

緑の風の　那覇空港
生業（なりわい）薫る　小禄の地
若い力の　意気昂（いきたかし）
未来はばたく　わが那覇市

七

青松（せいしょう）並木の　識名園
志（こころ）ゆかしき　真和志の野（の）
遠く海原（うなばら）　夢たくし
世界をつなぐ　わが那覇市

那覇市の歴史（概略）

1879年（明治12年）	廃藩置県により、那覇に県庁設置
1896年（明治29年）	特別区制の施行により、那覇区となる
1921年（大正10年）５月20日	**那覇区・首里区に市制施行**
1921年（大正10年）12月19日	那覇市章制定
1929年（昭和４年）	那覇市歌制定
1944年（昭和19年）10月10日	米機動部隊沖縄大空襲（那覇市街の90％が焼失）
～沖縄戦～	
1945年（昭和20年）11月10日	陶器と瓦工業復興の目的で男子先遣隊103人が壺屋町に入市
1950年（昭和25年）８月１日	みなと村、那覇市に合併
1954年（昭和29年）９月１日	首里市、小禄村、那覇市に合併
1957年（昭和32年）12月17日	真和志市、那覇市に合併
1971年（昭和46年）10月	第１回那覇まつり開催／那覇大綱挽復活
1972年（昭和47年）５月15日	祖国復帰
1975年（昭和50年）６月	那覇ハーリー復活
1983年（昭和58年）10月１日	市木（フクギ）・市花（ブーゲンビレア）・市花木（ホウオウボク）制定
1985年（昭和60年）12月	第１回ＮＡＨＡマラソン開催
1991年（平成３年）４月	パレットくもじ完成
2000年（平成12年）12月	首里城跡・識名園・園比屋御嶽石門・玉陵ユネスコ世界遺産登録
2003年（平成15年）８月	ゆいレール開通
2010年（平成22年）４月	沖縄セルラースタジアム那覇、沖縄セルラーパーク那覇落成
2010年（平成22年）８月17日	市の魚（マグロ）制定
2011年（平成23年）２月	読売巨人軍 那覇春季キャンプ実施
2011年（平成23年）７月	さいおんスクエア竣工（さいおんうふシーサー設置）
2012年（平成24年）12月	新庁舎落成
2013年（平成25年）４月	中核市へ移行・那覇市保健所設置
2014年（平成26年）３月	市の蝶（オオゴマダラ）制定
2014年（平成26年）４月	那覇小学校開校
2015年（平成27年）４月	なは市民協働プラザ開所
2016年（平成28年）４月	那覇市津波避難ビル落成
2017年（平成29年）３月	那覇市歌に新たな歌詞が追加
2017年（平成29年）10月	のうれんプラザオープン

那覇市歌

作詞　安藤　佳翠
作曲　宮良　長包

一
あけぼの清き　南の
港にぎわう　百船や
まちはいらかの　数増して
弥栄えゆく　わが那覇市

二
みどりも深き　奥武山
めぐる入江の　水なごみ
清き心に諸人の
睦み親しむ　わが那覇市

三
ゆかりも古き　波の上
ああぐ誠を　捧げもて
理想の自治に　進まなん
希望かがやく　わが那覇市

平成30年度　那覇市政功労者

登録番号441号

お がさわら ふみ こ
小笠原 文子

（75歳）

功績概要

昭和63年より30年の長きにわたり民生委員児童委員を務め地域福祉の推進に尽力。その間、那覇市民生委員児童委員連合会の副会長、沖縄県民生委員児童委員協議会理事を歴任し、組織の運営へ尽力するとともに本市の地域福祉の推進に貢献。

登録番号442号

きし もと ちゅうざぶろう
岸本 忠三郎

（86歳）

功績概要

昭和47年６月より５期18年余にわたり、那覇市選出の県議会議員として沖縄県の振興発展に尽力。その間、経済労働渉外委員長、土木委員会委員、経済労働委員会委員、総務企画委員会委員等を歴任し、県議会の立場から本市の発展に貢献。

登録番号443号

せ なが　きよし
瀬長　清

（70歳）

功績概要

平成16年11月から、４期12年余にわたり那覇市議会議員として務める。その間、議会運営委員会委員長、建設常任委員会委員長等の要職を務め、本市が抱える重要課題の解決と円滑な議会運営に尽力し、議会の立場から本市の発展に貢献。

登録番号444号

たか ら　まさ ゆき
髙良　正幸

（69歳）

功績概要

昭平成17年８月から３期12年にわたり那覇市議会議員として務める。その間、教育福祉常任委員会委員長、厚生経済常任委員会委員長、観光と地域活性化に関する調査特別委員会委員長等の要職を務め、議会の立場から本市の発展に貢献。

登録番号445号

たまぐすく　ひでこ
玉城　秀子
（76歳）

功績概要

玉城流玉扇会の実演家、指導者として活躍し、平成21年には、国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者として認定を受ける。那覇市文化協会の副会長、顧問、沖縄芸能連盟会会長等の要職を歴任し、本市の伝統芸能の振興に貢献。

登録番号446号

ちねん　ひろし
知念　博
（64歳）

功績概要

平成９年８月から、４期16年にわたり那覇市議会議員として務める。その間、厚生経済常任委員会委員長、予算決算常任委員会委員長、監査委員等の要職を務め、重要課題の解決と行財政の健全な運営に尽力し、議会の立場から本市の発展に貢献。

登録番号447号

なかむら　てつお
中村　哲雄
（79歳）

功績概要

昭和57年から35年間にわたり、那覇市心理専門員として本市の障がい児教育の充実に尽力。教育的観点から保育士や保護者に対し、児童の特性にあった療育の助言・指導を行い、本市の保育者の資質の向上や障がい児教育の充実に貢献。

登録番号448号

ひが　あきら
比嘉　晃
（71歳）

功績概要

第1回那覇大綱挽から47年間にわたり旗持や頭貫棒責任者、綱方、実行委員長等を務め、那覇大綱挽保存会の副会長として活躍。本市の伝統行事である大綱挽の保存、継承に努めるとともに、後輩の指導育成に尽力し、本市の観光振興に貢献。

登録番号449号

よぎみつお
與儀實津夫
（76歳）

功績概要

平成14年から10年間那覇市立病院院長を務め、その間初代病院事業管理者、初代地方独立行政法人病院理事長を歴任。市民の健康保持・増進に努め、保健衛生行政の推進に寄与し、本市及び地域の中核的病院としての那覇市立病院の発展に貢献。

那覇市政功労者一覧表

登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度
1	大湾　政順	S36	37	大山　盛幸	S46	73	板良敷朝基	S59	109	中村　正一	H1
2	真栄城守行	〃	38	高良　　一	〃	74	平良　良松	S60	110	大城　鎌吉	H2
3	上原　政春	〃	39	比嘉　佑直	〃	75	我如古盛仁	S61	111	宮城仁四郎	〃
4	屋富祖太郎	〃	40	渡口　麗秀	〃	76	屋宜　宗一	〃	112	伊志嶺朝良	〃
5	朝倉　文夫	〃	41	渡口　政行	〃	77	髙良　盛喜	〃	113	阿波連本啓	〃
6	山田　有幹	〃	42	嘉手納並水	〃	78	髙良　文雄	〃	114	金城　幸祥	〃
7	長野時之助	〃	43	武村　朝良	〃	79	津嘉山朝一	〃	115	上間　郁子	〃
8	佐久川長吉	〃	44	上地　安昭	〃	80	宮里　　悦	〃	116	瀬長亀次郎	〃
9	仲本　為美	〃	45	中山　興忠	〃	81	吉田　嗣延	〃	117	濱比嘉宗正	〃
10	宇良　宗樽	〃	46	黒潮　　隆	S56	82	國場　幸昌	S62	118	城間　榮喜	〃
11	真栄田世勲	〃	47	宮里　敏慶	〃	83	呉屋　永得	〃	119	兼次　佐一	〃
12	儀武　息睦	〃	48	赤峯　正一	〃	84	金城　吾郎	〃	120	稲福　全志	〃
13	渡嘉敷宗賀	〃	49	宮里　政秋	〃	85	國吉　辰雄	〃	121	屋富祖德男	〃
14	城間　雄蔵	〃	50	友寄　喜弘	〃	86	島袋　宗康	〃	122	宮里　春行	〃
15	上原　幸栄	〃	51	渡名喜守定	〃	87	千原　繁子	S63	123	髙良　正文	〃
16	赤嶺　賢信	〃	52	上原　清善	〃	88	島　　常賀	〃	124	友利　玄雄	〃
17	比屋定理榮	〃	53	久場　景善	S57	89	稲嶺　一郎	〃	125	新嘉喜貴美	H3
18	嘉数　　昇	〃	54	瀬長　フミ	〃	90	宮城　能造	〃	126	知念　績弘	〃
19	真榮城玄吉	〃	55	森田　孟松	〃	91	吉濵　照訓	〃	127	松島　朝永	〃
20	金城　紀光	〃	56	赤嶺保三郎	〃	92	渡久地政一	〃	128	嘉手納宗徳	〃
21	當間　重剛	〃	57	赤嶺　一男	〃	93	金武　良章	〃	129	嵩原　久男	〃
22	金城　和信	〃	58	安見　福壽	〃	94	外間　宏榮	〃	130	護得久朝俊	〃
23	長嶺　秋夫	〃	59	赤嶺　愼英	〃	95	島尻勝太郎	〃	131	大城　清德	〃
24	宮里　栄輝	〃	60	新垣　正達	〃	96	田場　典正	〃	132	本永　寛昭	〃
25	翁長　助静	〃	61	山川　正平	〃	97	前田　武行	〃	133	中村　昌信	〃
26	阪本　　勝	〃	62	大濵　長弘	〃	98	森田　重男	〃	134	金城　重正	〃
27	黒田　俊雄	〃	63	上原　綱正	〃	99	中山　興眞	H1	135	牧港　篤三	H4
28	石川　昌英	〃	64	伊良波長幸	S58	100	山田　有昂	〃	136	糸満　三郎	〃
29	崎浜　秀主	〃	65	真榮田義見	〃	101	仲程　長宗	〃	137	安次嶺金正	〃
30	久高　友敏	S40	66	源　　武雄	〃	102	比嘉　清子	〃	138	上原　義廣	〃
31	新垣　松助	〃	67	川平　朝申	〃	103	新島　正子	〃	139	棚原　靖子	〃
32	平良　亀助	S46	68	又吉　康林	S59	104	大宜見朝義	〃	140	眞玉橋ノブ	〃
33	辺野喜英興	〃	69	當銘　由金	〃	105	眞境名佳子	〃	141	下里　信子	〃
34	喜久山朝重	〃	70	高良　盛亮	〃	106	岸本　利男	〃	142	宮平　初子	〃
35	比嘉朝四郎	〃	71	稲嶺　成珍	〃	107	野原　康輝	〃	143	玉那覇　宏	〃
36	又吉　久正	〃	72	伊良波長正	〃	108	眞喜屋　武	〃	144	又吉　嘉榮	H5

那覇市政功労者一覧表

登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度
145	仲田　睦男	H5	182	大城　立裕	H7	219	與那嶺貞子	H10	256	渡慶次眞由	H12
146	島袋　常惠	〃	183	仲村渠精一	〃	220	石川　喜進	〃	257	佐久本政紀	〃
147	阿波連本輝	〃	184	與古田永宏	〃	221	仲里　文江	〃	258	池原　義信	〃
148	大濵　安伴	〃	185	中島　德良	〃	222	花城　清喬	〃	259	上地　源照	〃
149	多和田スミ	〃	186	大城眞太郎	H8	223	稲福　盛輝	〃	260	田端　辰夫	〃
150	宮里　繁	〃	187	金城安太郎	〃	224	古波津清昇	〃	261	玉那覇有公	〃
151	池原　貞雄	〃	188	宮城　嗣吉	〃	225	大城　眞順	〃	262	山川　博子	H13
152	山里　銀造	〃	189	中村　文子	〃	226	大濵　方榮	〃	263	大宜見靜子	〃
153	西銘　順治	〃	190	石川　盛亀	〃	227	宮里　松正	〃	264	古波倉正照	〃
154	瀬長　浩	〃	191	玉城　盛源	〃	228	小渡ハル子	〃	265	岸本　吉雄	〃
155	長嶺　将真	H6	192	髙良　弘英	〃	229	古波藏保吉	〃	266	嘉手川重夫	〃
156	又吉　盛弘	〃	193	儀間　節子	〃	230	大城　榮德	〃	267	湧川　幸盛	〃
157	新城　利彦	〃	194	宮里　榮一	〃	231	具志堅以德	H11	268	親泊　康晴	〃
158	上江洲由正	〃	195	嘉数　俊子	〃	232	吉田　春子	〃	269	金城　和夫	〃
159	濱元　榮吉	〃	196	真栄田　繁	〃	233	小橋川秀義	〃	270	髙良　政利	〃
160	安里　盛市	〃	197	城間　秀雄	〃	234	又吉　太郎	〃	271	島　秀範	〃
161	﨑間　麗進	〃	198	座覇　政道	〃	235	金城伊三郎	〃	272	武富　良規	〃
162	久場　トヨ	〃	199	新崎眞次郎	〃	236	知花　朝敏	〃	273	津野　力男	〃
163	久貝　喜代	〃	200	儀間　眞勝	〃	237	山田　義良	〃	274	古堅　實吉	〃
164	比嘉　澄子	〃	201	嘉手納憑勇	H9	238	儀武　息茂	〃	275	新垣　榮用	〃
165	眞喜志康忠	〃	202	髙良　鉄夫	〃	239	源河　朝明	〃	276	上原　妙	〃
166	赤嶺　宗一	〃	203	大山　敦子	〃	240	安里　積貞	〃	277	照喜名朝一	〃
167	安里　安明	〃	204	友利　榮吉	〃	241	安谷屋良子	〃	278	上原　清	〃
168	眞榮城嘉園	〃	205	上原　善吉	〃	242	金城　末吉	〃	279	嘉数　津子	H14
169	佐久本政敦	H7	206	花城　宗貞	〃	243	山里　勇吉	〃	280	長田　紀春	〃
170	伊波　圭子	〃	207	金城　唯喜	〃	244	呉屋　秀信	〃	281	山元　文子	〃
171	宇良　宗德	〃	208	髙良　德榮	〃	245	八木　明德	H12	282	玉城須美雄	〃
172	水島　源晃	〃	209	松山　幸子	〃	246	平良　正藏	〃	283	波平　光子	〃
173	宮平　勝哉	〃	210	有村　喬	〃	247	仲里周五郎	〃	284	佐久本卓哉	〃
174	山田　實	〃	211	髙江洲育男	〃	248	德田　淡	〃	285	田港　朝昭	〃
175	中原　盛山	〃	212	平仲　善幸	〃	249	大見謝　文	〃	286	新城　紀成	〃
176	島袋　光史	〃	213	浦崎　直有	〃	250	喜屋武朝章	〃	287	名嘉　順一	〃
177	真榮平房敬	〃	214	當眞　嗣州	〃	251	安次嶺榮一	〃	288	古堅　英信	〃
178	宇根伸三郎	〃	215	屋良　朝順	H10	252	田本　信勇	〃	289	新城　和治	〃
179	知念　勇	〃	216	古倉　保文	〃	253	佐久本尚哉	〃	290	幸地　正博	〃
180	船越　義彰	〃	217	湧川善三郎	〃	254	崎山　厚	〃	291	久保田淑子	〃
181	宮平久米男	〃	218	濱元　朝起	〃	255	前城　健二	〃	292	眞榮城守晨	〃

那覇市政功労者一覧表

登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度	登録番号	氏　名	年度
293	安座間　弘	H15	330	大嶺　米子	H18	367	大城　春吉	H21	404	當間貴美子	H25
294	渡嘉敷唯厚	〃	331	城間德太郎	〃	368	安里　仁愛	〃	405	長嶺　信夫	〃
295	東江　芳隆	〃	332	名渡山愛擴	〃	369	新崎　政昌	〃	406	福治　友次	〃
296	大田　朝美	〃	333	儀間　紀善	〃	370	宮田　智子	H22	407	池間　洋子	H26
297	城間　茂松	〃	334	城間　正孝	〃	371	安慶田光男	〃	408	大城　政子	〃
298	福原千代子	〃	335	西平　守廣	〃	372	又吉　達雄	〃	409	金城　信榮	〃
299	崎間　　晃	〃	336	上間　　清	〃	373	宮城　康亘	〃	410	金城　眞吉	〃
300	我那覇生隆	〃	337	玉城　仁章	〃	374	永山　盛廣	〃	411	玉城　　彰	〃
301	嘉数　榮吉	〃	338	洲鎌　　忠	〃	375	安里　嗣昌	〃	412	渡久地正和	〃
302	仲村　善信	〃	339	島袋　常明	H19	376	金城　文子	〃	413	仲本　政雄	〃
303	山口　悦子	〃	340	渡久山千代	〃	377	與儀　清春	〃	414	嶺井　政治	〃
304	大城　勝夫	〃	341	真栄田世行	〃	378	新垣　　勇	〃	415	宮城智恵子	〃
305	座覇　政爲	〃	342	外間　正男	〃	379	湖城　英知	H23	416	宮里　盛淳	〃
306	嘉数　　進	〃	343	具志　孝助	〃	380	平良　　哲	〃	417	吉田　久子	〃
307	唐眞　弘安	〃	344	野村ハツ子	〃	381	高良幸太郎	〃	418	石川　秀雄	H27
308	国吉　真徳	〃	345	金城　一史	〃	382	仲村　正子	〃	419	岸本　久子	〃
309	瀬良垣武安	〃	346	宮里　義弘	〃	383	新垣　　勳	〃	420	新里　康信	〃
310	松茂良興辰	H16	347	島袋富士子	H20	384	内原　栄輝	〃	421	平良　　菊	〃
311	亀島　賢優	〃	348	崎山　嗣幸	〃	385	宮城　榮三	〃	422	西　登貴世	〃
312	山里　昌幸	〃	349	島袋　文雄	〃	386	安次富哲雄	H24	423	玻座真博公	〃
313	宮里　朝光	〃	350	嶺井　　浩	〃	387	糸数　　武	〃	424	鳩間　用吉	〃
314	新垣　　清	〃	351	赤嶺　政賢	〃	388	崎山　嗣榮	〃	425	安次富長昭	H28
315	佐久本政彦	〃	352	久高　將光	〃	389	高江洲　旭	〃	426	大城美智子	〃
316	高良　一雄	〃	353	金城惠太郎	〃	390	玉城　節子	〃	427	喜舍場盛勝	〃
317	仲村　正治	〃	354	当山　尚幸	〃	391	友寄　英毅	〃	428	照屋　幸榮	〃
318	赤嶺　幸信	〃	355	城間　榮順	〃	392	名城政次郎	〃	429	永山　　潔	〃
319	仲田　　節	〃	356	岸本　幸治	〃	393	西江　喜春	〃	430	濱松　　宏	〃
320	宮城　宜子	H17	357	與那覇光男	〃	394	西筋　清治	〃	431	比嘉　　晋	〃
321	髙良　幸勇	〃	358	前田　政明	〃	395	冨名腰ツル	〃	432	福治　貞子	〃
322	高里　鈴代	〃	359	久手堅矢素子	H21	396	宮國　恵徳	〃	433	銘苅　春雄	〃
323	新垣　　侑	〃	360	國吉　　勲	〃	397	阿波連本勇	H25	434	島尻　香雄	H29
324	福原　朝悦	〃	361	仲本　安一	〃	398	内間　荘六	〃	435	平良　長政	〃
325	石橋　俊夫	〃	362	照屋　照子	〃	399	嘉数　昇明	〃	436	高里　良樹	〃
326	稲福　全三	〃	363	富本　盛弘	〃	400	喜屋武正雄	〃	437	仲里　政幸	〃
327	吉田　朝啓	〃	364	外間　久子	〃	401	具志　盛義	〃	438	西原　篤一	〃
328	大西　正子	〃	365	比嘉　　稔	〃	402	玉木　史朗	〃	439	宮城　幸子	〃
329	田端　國男	H18	366	久高　友弘	〃	403	知念績太郎	〃	440	山口　良子	〃

※一部旧字体については、新字体により対応して表記しています。

発行　那覇市 総務部 秘書広報課